

1. 水道用バルブ類の規格について

1.1 規格の概要

水道用バルブ類には、次の日本水道協会規格・日本工業規格及び水道バルブ工業会規格がある。

JWWA B 103 : 2013	水道用地下式消火栓 ^{a)}
JWWA B 120 : 2013	水道用ソフトシール仕切弁 ^{a)}
JWWA B 121 : 2013	水道用大口径バタフライ弁 ^{a)}
JWWA B 122 : 2013	水道用ダクタイル鋳鉄仕切弁 ^{a)}
JWWA B 126 : 2013	水道用補修弁 ^{a)}
JWWA B 131 : 2013	水道用歯車付仕切弁 ^{a)}
JWWA B 135 : 2013	水道用ボール式単口消火栓 ^{a)}
JWWA B 137 : 2013	水道用急速空気弁 ^{a)}
JWWA B 138 : 2013	水道用バタフライ弁 ^{a)}
JWWA Z 103 : 2000	水道用バルブのキャップ ^{a)}
JIS B 2062 : 1994	水道用仕切弁 ^{a), b)} 「規格改正中」(2015年6月現在)
JWVA 102 : 1990	水道用仕切弁操作トルク計算基準

注^{a)} 本冊子に規格品の概要を収録(規格の詳細は、各規格を参照ください)。

なお、各バルブの質量を記載しているが、実際の製品の質量は、会員会社による違いがあるので、ここに記載した質量は「参考」である。また、この質量は規格において規定されているものではない。

^{b)} 日本工業規格である、JIS B 2062 水道用仕切弁は規格改正中であり、現状の規格を掲載している。

1.2 水道用バルブ類の JWWA 規格改正について

日本水道協会は、水道用バルブ類の **JWWA** 規格について平成 25 年 11 月 26 日付けで 9 規格の改正を実施した。

主な内容は、

1. 近年水道施設の技術的基準を定める省令の改正によって強化された鉛及びカドミウムの浸出基準に対応するため、鉛レス銅合金材料を水道用バルブ類の規格に追加した。
2. 平成 23 年 3 月の東日本大震災では、空気弁の破損被害が顕著であったことから、被害調査結果を基に、急速空気弁規格の内容を見直した。
3. 平成 25 年 3 月に **JWWA G 120, 121**（水道用 GX 形ダクタイル鋳鉄管及び異形管）が制定されたことに伴い、GX 形に対応するソフトシール仕切弁を追加した。

これらの改正規格の内容を抜粋し、箇条 2 で紹介する。